

May 2019

厳しい時代の到来

そのように、わたしの口から出るわたしのことばも、むなしく、わたしのところに帰っては来ない。必ず、わたしの望む事を成し遂げ、わたしの言い送った事を成功させる。（イザヤ書 55章11節）



代表 エルサレム杉澤

当ミッションの働きのために、皆様の尊いご献金とお祈りを有難うございます。早いもので、この5月で2018年11月にスタートした年度も後半期の働きに入りました。

当ミッションの母体であるTLEA東京アンテオケ教会が新たな局面に入り、終末、後の雨リバイバルの働きが佳境を迎えるなか、当ミッションもリバイバルの働きを担う海外宣教の働きを進めています。更に、皆さまのお祈りとご献金をよろしくお願い致します。

日本では30年続いた「平成」時代が幕を閉じ、5月1日、新天皇の即位とともに新元号「令和」がスタートしました。連日、テレビ各局は平成時代を振り返るとともに、新しい令和時代に期待する特番で賑わっていました。

平成は多くの災害が日本各地を襲った時代でした。1995年(平成7年)の阪神・淡路大震災に始まり、2004年(同16年)と2007年(同19年)には新潟県中越地震が起こり、2011年(同23年)、マグニチュード9.0、最大震度7とともに、大津波が発生し未曾有の被害をもたらした東日本大震災は、今なお、その痛手が続いています。2016年(同27年)には九州で熊本地震が発生し、昨年9月には北海道胆振(いぶり)地震がありました。このように、甚大な被害をもたらした地震が相次いで襲うとともに、台風や土砂災害等々で多くの災害に見舞われました。誰もが平和な時代を願っていますが、今の世界情勢と聖書に書かれた主イエスの再臨前の前兆や黙示録と照らし合わせ、終わりの時代についての予告に目を留める時、更に厳しい時代の到来となることが十分に考えられます。

これから訪れる厳しい時代の中で、更に徹底して主に聞き従う信仰の歩みを通して、主が約束のリバイバルのクライマックスの働きを成し遂げ、主が全うしてくださいませ。

写真右：世界で一番短い聖書のお話
(東京アンテオケ教会ウェブサイト)
パウロ秋元牧師 (右)

